

波紋

1994 4 第106号

モーリンググループ カナダ慰安旅行

先発 3月4日～9日

後発 3月11日～16日

私は先発で行かせてもらったのですが、カナダは雨がよく降ると言われ、荷物も一つ多く用意をして行ったのですが、都合よく先発の旅行期間中は何とか天気でした。

カナダに行ったら、やはり日本米は出てくるはずがないのですが、飛行機の中も外米でとても日本のお米が恋しかったです。

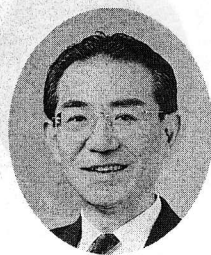


ホテルはとても綺麗で、旅行経験のほとんどない私にとって、憧れだったポーターに荷物を運んでもらえたという事がとても印象的でした。

旅行中は皆様に御迷惑をお掛けしまして大変申し訳ありませんでした。

加藤 公江

「洗車」



5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）運動の中で洗車を今年より始め、三ヶ月が過ぎました。洗車のやり方、道具の使い方など、まだまだ中途半端な点もありますが、継続してやっていききたい。

「車を洗っている暇があったら、早くお客様へ配達した方がよい。早く帰社できる。車が汚くたって売上に影響しないんだ。」と云ってしまえば、そうかもしれない。でも、毎日乗る車がキレイだったら、気分もなんとなくスッキリして運転できるし、車の色々な事も発見出来たりして楽しい気がする。又、仲間とペアで洗う時は、昨日の事や今日の行動予定の事、次回休日の遊びの話などをしながら洗車するのもいい事だと思います。お互い忙しい身で、事務所の中だけのコミュニケーションと一味違った話題が出る様な気がします。私の車の洗車を、配達の人に時々手伝ってもらい、ありがとうございます。洗車の仕方、や車内の掃除とか、ワックスの掛け方とか、私自身も十分知らない点がありますので、皆さんに教えてもらいながら続けて参りたいと思います。ヨロシク。

森 信之

トシ君の一方通行

「森松の社員はお金持ち」

何度も言っておりますが、森松の社員で新聞読まないのが多い。これは、営業であろうが内務であろうが製造であろうが関係ない。社会人であるならば当然と思う。本を読まないのは当たり前の雰囲気。でも、本を読まないというのはお金出さなくていいから未だしも、な・な・な・な・何と読まない新聞代払っている。こういうことかという、新聞をとらないのは格好が悪いという。つまり、金をどぶに捨てている訳だ。読まない新聞に金を払う。年間いくらになると思いますか？皆さん、森松の社員から金借りましょう。返さなくていいからお得ですよ。

本を読まないのは、金損しないかも分からないけど、人生損するから、結局はお金が損することになります。たった四百円の文庫本でも、その人の受け取り方次第で何万、何十万円の価値があります。原価率の低いこと……平気でお金を損するお金持ちが多いんです。



木村 英利

森松クインテット

「カナダ」

先日、カナダへ行った事のある人に聞いた話です。

カナダでは、信号機のない横断歩道の前に人が立つと必ず車が止まるそうです。確率で言えば、100%だそうです。そして、その人が日本へ戻ってから、日本ではどうかかな!?と思いついて、観察してみた所、70〜80%だったそうです。もちろん止まらない車の方です。心の余裕なのでしょう。確かに近年のカナダは、経済的には、あまり余裕のある様な状況ではありませんが、人の心は、余裕に満ち溢れているのでしょうか。

ボランティアという言葉があります。日本語に訳すと「ただ働き」という事になってしまふのではないのでしょうか。ボランティア活動の経験が重視される欧米諸国と、単なる「ただ働き」になってしまふ、時には「仕事もせんと……」と言われて会社から冷遇されてしまふ日本と、どちらが本心に裕福な国と言えるのでしょうか。多分これは、上から下までボランティアという事に未経験な人ばかりで、理解もしてないし、教える事も出来ないのでしょうか。かく言う私も未経験ですが、いろいろな意味で「ただ働き」ではなく、心の余裕という貴重な財産を得られる、という考え方、行動、生き方があるのだな、と感じております。

牧野 光昌

喜怒哀楽

「時間」

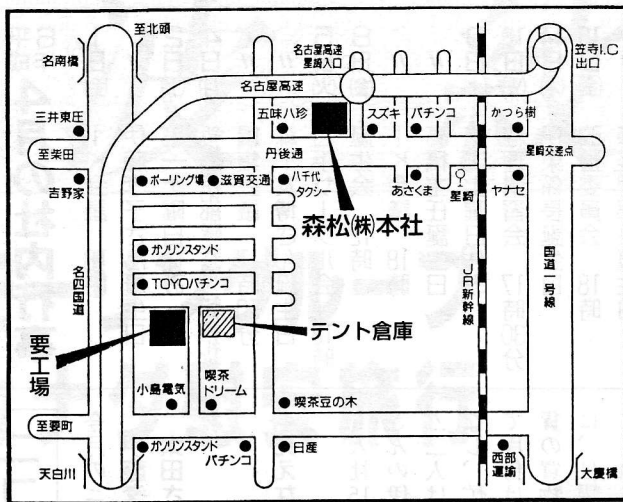
一日は、24時間誰もが平等に持っている。何をやるべき事も誰もが持っている。

会社に勤めている人なら、一日の内、8時間余りを勤務時間、通勤や残業も含めれば10時間以上にもなる。睡眠時間と食事の時間を考えれば残された自由時間は、約4時間。この4時間をどれだけの人が有意義に使っているのだろうか？

仕事が忙しいから、自分の時間を作れないと言う人がいると思う。自分の時間を見つけないという事は、楽しみを見つけない事である。仕事が忙しく、勤務時間が自然と多くなってしまうにしても、勤務時間の中で自分の時間を持つゆとりが欲しいものである。



大橋 康成



お知らせ

三月十四日より、弊社要工場のテント倉庫を撤去することになり、機械設備や在庫品の移動を行いました。

ウエルダー機やミシン、裁断機、延反台などが本社の方へ移動し、空いたスペースに在庫品を管理していきます。

今までの様に在庫が持てなくなりまして、お客様方に大変ご迷惑をお掛け致しますが、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

新しい仲間がふえました



坂本 隆志

平成六年二月二十一日入社

二月二十一日に入社しました坂本です。只今、要工場で研修中です。一日も早く一人前の森松マンになれる様に一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

- 趣味 音楽・オートバイ
- 好きなスポーツ 野球
- 血液型 A型
- 抱負 自分に自信を持てる人間になる事



暮らしのエッセイ

「英会話」

英会話を始めて四ヶ月。まさか、この年になって英会話を勉強するとは思わなかった訳ですが、現在、悪戦苦闘しています。英語は中学校一年より、大学四年までの十年間、勉強していたつもりですが……。

今年の慰安旅行は、カナダ（3月4日より4泊6日）です。英会話を勉強した成果を試すチャンスだった訳ですが、いきなり、カナダへ向う飛行機の中で二回もチョンボをしました。

一つは、コーヒーを飲む際に、「ノーシユガー」と言ったら、砂糖をくれました。

二つ目は、「オレンジジュース」と言ったら、アップルジュースをくれました。

私は、英語で反論をすることなく（反論することが出来ず）、笑顔で「サンキュー」と言いました。……情けない。

まだ、この事件のショックから立ち直らないうちに、食事の時間となりました。

献立は、ビーフと、フィッシュです。私は、当然ビーフにするつもりでしたが、食事のワゴンが私に近づいてくる前に、ビーフが品切れとなりました。ショックノしかし、ビーフが品切れとなった瞬間、うなぎ（新メニュー）が現れたのです。女神は、私を見捨てなかった。私は、ビーフよりうなぎの方が好きなのです。ワゴンがやっと私の席までやって来ました。ワゴンには、フィッシュしかありませんでした。もう、カナディアン航空には、乗りたいくないと思いました。

カナダの景色は素晴らしく美しかった。今度は、愛する妻と二人で、JALに乗って行きたいな！と思います。

村田 恒夫

平成6年 4月の社内行事

1日(金)	IK会議 18時
2日(土)	伊藤孝子さん誕生日
4日(月)	第一土曜日休み
4日(月)	新規開拓部隊会議 総合朝礼後 編集会議 17時50分
5日(火)	森下友博さん誕生日
8日(金)	若手サークル会 18時 誕生会 12時
9日(土)	IK会議 18時 高橋主任誕生日
12日(火)	第二土曜日休み
12日(火)	経理講習会 17時30分
14日(木)	伊東係長誕生日
15日(金)	改善委員会 18時
16日(土)	森経理部長誕生日
18日(月)	第三土曜日休み
21日(木)	新規開拓部隊会議
23日(土)	総合朝礼後
25日(月)	KASSEI会 18時 ホーレン会 17時30分 新規開拓部隊会議
26日(火)	総合朝礼後 経営会議 15時10分
27日(水)	営業会議 17時30分
29日(金)	社長・ベトナム出張 下田サヨさん誕生日
5月(日)	みどりの日
8日(日)	ゴールデン・ウィーク

ニコチャン投書箱

今月のニコチャンは、
伊藤孝子さん、岡田洋子さん、
太田さだ子さん、山内ひとみさん
の四名に決定しました。

「見えないところで頑張っている 四人組」

四人組

入社15年と14年のベテランパートさんの伊藤孝子さんと岡田洋子さん!!二人は日常業務は勿論しっかりこなし、忙しい時は家にまで持ち帰って片付けてくれるし、特に、日用雑貨の買物も大売出しの安くなった日に、日曜、祭日もかまわず買ってきてくれます。又、要工場と本社の連絡や用件を会社が終つての帰り道に済ませてくれるし、パートさん全体のためや連絡も中心になってやってくれます。

又、森松は、新年会、誕生会、ピアパーティー、家族忘年会……と多くの行事がありますが、そういう時はお二人が中心になって、100人から150人の料理やお酒の段取り、買物もしてくれれます。又、自分達の家で間に合う道具類等も持って来て準備してくれれます。

このお二人は、真から自分のことのように一生懸命、会社のことを思って動いてくれるのが身にしてみても

く判ります。最近、もう二人、入社三年でお二人に匹敵する力を発揮するパートさん、太田さだ子さん、山内ひとみさんが加わり、モーリングループにとって、本当に頼もしい『四人組』になりました。

感謝、感謝、感謝、感謝。

推薦者 森 ちか



左より 岡田さん、山内さん、太田さん、伊藤さん

クイズコーナー

〈3月号の答え〉

⑥ い あ え き う か

※正解者の方には、商品の発送を
もって、発表にかえさせて頂
きます。

編集後記

カナダ旅行は大変楽しく、生涯忘れられぬものとなりました。カナダでは当然日本語は通じず、英語を駆使してみましたが、英語は文法だけではないですね。私が考えるには、英語は度胸と愛嬌だと思います。文法・単語をいくら知っていても、それを実際使ってみなくては、何にもなりません。度胸で実際使ってみて、相手の言っている事が分からなければ愛嬌でごまかす。すると相手は、この日本人は英語が余り分かっていないのだと思ひ、また、ゆっくり話してくれます。それでも分からない場合は、ジェスチャーで伝えます。度胸と愛嬌さえあれば何とかなるものです。

谷澤 享

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
高橋 武夫
平成6年4月1日
第106号